

いつでも聞ける場所 「よろず相談所」



一般社団法人 とよのていねい

私たちについて

一般社団法人 とよのていねい



- 豊能町での暮らしの情報を発信する地域情報メディア

- 主にWEBが中心

- たのしそうな暮らしの情報発信源。
賛同者が集まった活動グループ

- 地域芸術祭のさまざまなお手伝い
- 地産地消野菜市
- 地域の福祉法人と連携してイベント開催



スマートシティで担当したこと

- **スマホ教室**

- **よろず相談所**

- **その他**

スマートシティで担当したこと：スマホ教室

● 3ヶ月間で合計37回のスマホ教室を開催 (参加者のべ274名)

講師・アシスタントは主婦、大学生、定年退職後の方など町民で構成。

● 町のシニア向け・初心者向けパソコン教室と協働

受講者と同じ目線に立ち、なごやかな雰囲気を心がけたことで、本プロジェクトの主な対象者である年配層の信頼感がアップした。

● スマートシティに関するサービス説明会を同時開催

● ウェアラブルデバイスの配布協力・初期設定をサポート

企業側実証実験のためのスマートバンド合計300台のうち109名に配布。

● 地域通貨体験会を実施、町のパン屋さんにも協力依頼

DigitalPlatformer様のデモ機を借り、今後運用予定のキャッシュレス決済を体験。
地元のパン屋に協力いただき、
よりリアルな実際の買い物シーンを想定した体験会を実施。



キャッシュレス決済体験のようす

その他スマートシティで担当したこと

● 【スマートバンド配布】町の福祉法人数社に声かけ

本プロジェクトで最も理想的と思われる対象者とのマッチング。
109台（スマホ教室）+140台（よろず）で合計249台配布



● 【ICタグ】ワークショップの企画・運営

NECネットエスアイ様・ミマモルメ様による実証実験として、ICタグ「ミマモルメ」の町民配布に協力。企業からのヒアリングを通し、ワークショップの企画提案・イベントを実施。「お守り袋ワークショップ」



ワークショップではICタグを祈祷

● チラシ等広告におけるUIの改善とデザインの統一

高齢者を配慮したUDフォントを使用。最先端でクールな印象というより、柔らかく・優しく見えることを意識。「みんなで作る豊能町スマートシティPJ」ロゴを作成し、かならず施策チラシには入れるようにした。



スマートシティで担当したこと：よろず相談所

- スマホで分からないこと、スマートシティ事業に関する窓口として「よろず相談所」を開設。
- 企業が実証実験として配布したIT機器の問い合わせ、今後加速するまちアプリ「とよのんコンシェルジュ」のインストールなどのサポート等も含まれる。

ねらい

主に高齢者の、スマホに対する不安を解消する手助けとして開設。



実施体制

● 開催日

毎週土曜のAM9：30～正午まで（2021年12月25日からスタート）

毎週月曜のAM9：30～正午まで（2022年2月14日からスタート）

● 来場者

平均して毎回10名前後の来場者、
多い時は2時間半で60名来場（スマートバンド配布時）



スタッフの属性

1. 妊娠・育児休暇中の主婦
2. 定年退職された元グラフィックデザイナー
3. 定年退職された元会社役員
4. 人工知能研究中の大学生
5. 教育学部大学生
6. 染色作家
7. ソフトウェア開発者

相談員もさまざまなバックボーンをもつ住民の有償ボランティアで構成

やること・役割

1. スマホの悩み相談

- a. 専門家ではないので、あくまで相談の入り口として
- b. 別項記載

2. CSPFC事業の窓口

- a. アンケートの実施および謝礼の配布
- b. ウェアラブルデバイスの配布
- c. アプリ操作説明

3. スタッフを守る受け皿としても

- a. 良くも悪くも同じ町内なので、活動時間外に相談されたとき
「よろず相談所にて」と案内しやすい



スマホの相談窓口として

- スマートバンドの同期
- アプリの消し方
- ホーム画面の整理
- キャリアの不具合
 - 問い合わせ内容をお伝え
- メールが送受信できない
- 「とよのんコンシェルジュ」が起動しない
再ログインできない
- 楽天カードアプリがアップデートできない
- LINE、QRコードで友人追加
- 歩数が反映されない
- 確定申告
- 山がわかるARアプリの案内
- ラジコ設定
- アプリのインストール

住民からの支持

- ドライフラワーの差し入れ
- 町外の名店おはぎの差し入れ
- 町の行く先々でお礼をいただく
- 携帯ショップでは解決できなかった安心感

デジタルデバイス解消への地道な解決策

「とよのんコンシェルジュ」がアップデートに伴い、アカウント登録にメール認証が必要になったが、ほとんど何事も無く登録が出来るように。よろず相談所の前に行っていたスマホ教室では、文字を打つのもやっとだった方々が、複雑な登録を事もなげに出来るようになっている。

ARアプリを仲間内で紹介し合うなど、高齢者がスマホを楽しみながら着実に生活に取り入れている場面に立ち会えた。

戸惑いから感謝へ